

民主島根

2017年
5.14
第1287号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

美保基地・空中給油機配備、米軍低空飛行・・・

岩国基地・空母艦載機移駐やめよ

防衛局に垣内衆院比例、岩田・むこせ島根1・2区ら



中国四国防衛局に要請する衆院比例、小選挙区予定候補ら(広島市)

日本共産党の垣内京美衆院中国比例予定候補と中国地方5県の小選挙区予定候補ら16人は4月26日、広島市の中国四国防衛局を訪れ、米海兵隊岩国基地(山口県岩国市)への空母艦載機移駐計画や米軍機による低空飛行訓練の中止などを要請しました。岩田たけし島根1区、むこせ慎一同2区の両予定候補も参加しました。



中国ブロックで「比例2議席必ず」と、中国5県の小選挙区予定候補者が揃っての候補者会議が開かれました。(4月26日=広島市)



松江「9条守れ」450人が集う Make Peaceの集い

の配備計画について「海外での戦争に送り込む可能性がある(福住英行鳥取2区予定候補)との指摘に対し、防衛局の担当者には、集団的自衛権行使の「要件」に基づいて運用することを認めました。

垣内比例予定候補らは「住民の同意なしに配備や訓練を強行することは絶対に許されない」と強調しました。



70周年 憲法記念日宣伝 岩田氏、尾村県議ら先頭に

憲法学者の飯島滋明・名古屋学院大教授が「憲法法制・沖繩・共謀罪戦争できる国づくりを許さない日本国憲法の底力」と題して講演。飯島氏は、戦争ができる国づくりが進みつつあるとし、「子どもや孫が戦争に巻き込まれないよう、島根でも行動していきま

日本国憲法が1947年に施行されてから70周年を迎えた3日、日本共産党は地方議員らを先頭に各地で街頭宣伝に立ちました。

松江市では、尾村利成県議、橋祥朗、吉儀敬子、田中肇の市議団が商業施設前で訴えました。尾村県議は、北朝鮮の核・ミサイル開発にふれ、「深刻な犠牲が必至とな



第88回県中央メデー

野党共闘で安倍政権倒そう 尾村県議が連帯の決意表明

尾村県議は「市民、野党の皆さんと力を合わせ、安倍政権打倒に全力を尽くす」と決意表明しました。(写真) 毎年参加している二村武さん(87)は「戦争の時代を生き返ってきた。昔に逆戻りさせてはならない」と語りました。

市議団は、先の市議選での支援に感謝を述べ、「原発再稼働ノーなど公約実現に全力を尽くします。戦争する国づくりをすすめる安倍政権の改憲の企みを阻止するため、一緒に力を合わせましょう」と呼びかけました。岩田たけし衆院島根1区予定候補は、安来市内で原田貴与子、向田聡の両市議とともにマイクを握りました。(写真)

鼓動

ツイッターやブログなどのソーシャルネットワークワーカサービスは言論の民主化、自由化をもたらしたといわれる。その重要性は大いに認めるところである。しかし、ネット上の政治や社会問題を対象にした文章の大半がいわゆる「印象批評」(個人の価値観に基づいて物事を批評すること)となっており、個人が執筆している以上、いかなる文章も「印象批評」になるのは仕方ないことだが、説得力を持たせるためにも、ある程度の客観性を有していることが望ましい。幸い、日本共産党には全党の英知を集めた綱領と大会決定がある▼『赤旗』の専任通信員に就任してから3カ月が経ったが、この頃、他紙との違いを強く感じている。『赤旗』の記事が「科学の目」で練り上げられた綱領なり、大会決定の生命力で貫徹されているのは確かな強みであり、問題の処方箋も提示するといわれる所以でもある▼何らかの価値判断を下さないと批評にはならないが、少なくとも大会決定に依拠している限り、物事を判断するという点において大きな誤りを犯すことはないだろう。その点で『赤旗』の論評が「印象批評」に陥ることもないだろう。もともと、油断は大敵であり、日々の自己研鑽、学習が必須である▼とりわけ、政治的論評を執筆する場合は、何事もいちど括弧を付し、大会決定と照合のうえ判断を下す—こういった地道な取り組みが党員としての成長、ひいては『赤旗』専任通信員としての成長につながる。以上、東京都議選、総選挙を前にして駆け出しの『赤旗』専任通信員としての自戒としたい。(純)